

◆◆◆◆◆
吉山盛次郎 議員



赤間運動場において
村民の利便性を高める
運用について

質 村民の利用推進について現状を伺います。

答 社会教育課長 金城徳夫

村民は二カ月前、村外は一カ月前から予約可能になっていました。利用者実績、平成23年度運動場、野球場合わせて、4万4千3百人。24年度5万3千70人。25年度は4万5千人利用しています。

質 陸上競技が恩納村の運動に関する大会において多くの選手が参加し、最も多くの観客が参加する行事だと思っている。村の陸上の一週間前ぐらいは日曜日をあけることは可能じゃないか。村民が利用できる範囲はもっと広げる必要がある。

答 教育長 石川哲夫

来年には、配慮はしていきたい。それと併せて、五時以降の練習についてもみなさんが利用しやすいようにセットしていきたい。

たいと思っています。

質 体協、青少協、団体及び村全体を対象としたイベントの構想はあるか伺います。

答 社会教育課長 金城徳夫

村民にスポーツをする機会を提供し、福祉健康課と連携し健康福祉まつりウォーキングフェスタ。ノルディックウォーキング等のニュースポーツ体験を取り入れて健康増進の意義高揚に繋がります。今年度は、青少協で駅伝大会、小学校記録会を実施しました。今後、体協等名桜大学陸上部とも連携し村民向け講師を招きイベントを検討していきたい。

海の環境と観光の共存
発展に係る施策について

質 「海」というのは、我が恩納村の生命線だと思っています。漁業、マリレジャーが持続可能な発展を続けるためには人間の関わりが必要ではないかと思う。恩納村の観光を包含した海

の環境に係る村の認識と係る施策を伺います。

答 商工観光課長 長浜保治

海の環境と観光の共存発展に係る事業として「恩納村心豊かなふるさとづくり推進協議会」によるCGG事業、空き缶散乱防止キャンペーン、ビーチクリーンアップ大作戦事業、恩納村海浜公園海開きの日ビーチクリーンアップ事業、また市民ボランティア団体やライオンズクラブ恩納村ダイビング関係により空き缶拾いや各自治会を主体に村民が自主的に海浜清掃を行っております。様々な事業を通して海の環境を守っていきたいと考えております。

◆◆◆◆◆
喜納 正誠 議員



村長選挙について

質 残された残任期間4カ月足らずで任期は終わるわけでありませんが、4期目の立候補はあるんですか。ないんですか。ご答弁をお願いします。

答 村長 志喜屋文康

新しい議員と一緒にやって村づくりができるか、議員の方々のご理解をいただきながら私としては現体制の中でしっかりやっていきたいという思いであります。

質 次の村長選挙には、立候補するんだということの理解でよろしいでしょうか。明確にご答弁お願いしたいんですけど。

答 村長 志喜屋文康

任期は1月24日確か、そうだったと思います。次の体制は現体制のまま立候補させていただきますというふうに思います。